

令和5年度 学校自己評価及び学校関係者評価表

武蔵村山市立第三小学校

経営理念	子供も大人も共に成長する学校を指針として、地域・保護者と協働して、確かな学力、健全で豊かな心と体の育成を目指す。
------	--

【学校運営協議会・会長】			
学校運営協議会（学校評価分）	第1回	1月27日（土）	
	第2回	2月15日（木）	
	第3回	3月12日（火）	

	経営目標 （中期・短期を明記）	目標達成のための方策	評価指標	自己評価				学校関係者評価	
				目標値		最終評価		分析コメント(学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策(来年度の目標設定、具体記取組目標)
				7月 達成値	1月 達成値	達成度	評価		
確かな学力の向上	基礎的・基本的な知識・技能の習得（中期）	◇朝学習、家庭学習等において、eライブラリを活用したドリル学習を継続的に実施する。 ◇東京ベシックドリル（算数）の診断テストを実施し、個々の課題に応じた学習を行う。	・学校評価アンケート達成率	80		54.8%	B	達成度は54.8%で、課題として捉えている。保護者からは、「宿題等をタブレットを活用して提出するなど、活用を早急に進めてほしい。」「子供が学校からタブレットを持ち帰り、以前よりスムーズに操作しているところを見て、意欲や能力が伸びている気がする。」「宿題をしっかりとしてほしい。」などの意見をいただいた。	朝学習、家庭学習でタブレット端末（音読、eライブラリ、ベシックドリル、ドリルプラネット）を活用し、個別最適な学びと学習の見える化と児童の学習意欲の向上を図る。本校公式X（旧Twitter）での積極的な情報発信を行う。学校公開においても、朝学習の様子を公開していく。学力向上につながる地域未来塾のよりよい実施方法を検討していく。
	思考力・判断力・表現力等の育成（中期）	◇教員・児童による読み聞かせや読書表彰、朝読書や読書旬間等、多様な読書活動を推進し想像力や表現力を育成する。 ◇各教科等の授業の中で、知識及び技能を活用した話し合い活動や書く活動を充実させる。	・学校評価アンケート達成率	80		76.0%	B	達成度は76.0%で、概ね理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「以前行っていた有志の保護者による読み聞かせが出来たよと思う。」「子供たちはイベントには熱心だが、普通の授業への意欲がないように見える。底上げを期待している。」「読書の時間をより多く持ってもらいたい。」などの意見をいただいた。	学校全体の取組である朝読書や読書旬間等の読書活動を充実させ、児童が本と向き合う時間を確保する。各学級の図書時間の進行管理を適切に行い、ブックトークや読み聞かせなど、児童が読書に親しみをもてるようにしていく。また、本をたくさん読んだ児童を表彰する活動を引き続き行っていく。
	主体的に学習する態度の育成（中期）	◇授業や家庭学習等でICT機器（タブレット端末や提示用スクリーン等）を効果的に活用する。 ◇授業や様々な活動において、目標設定、選択の機会を設定する。	・学校評価アンケート達成率	80		88.3%	A	達成度は88.3%で、概ね理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「先生がスクリーンに示しながら説明して、子供たちもより意欲的に授業に参加しているように見えた。」「ICT機器を利用することで、授業内容がよりイメージしやすく、理解しやすいように感じた。」などの意見をいただいた。	校内研究で有効なタブレットの活用場面や活用方法を追究し、各教科・領域で、タブレットの活用を積極的に行っていく。また、全学年でタブレットの家庭への持ち帰りを行うことで、家庭学習での活用も推進していく。
	学習規律の徹底（短期）	・話し方や歩き方、返事の仕方、姿勢など学習規律を徹底する。	・学校評価アンケート達成率	80		62.9%	B	達成度は62.9%で、課題として捉えている。保護者からは、「授業態度や友達への態度があまり良くないようで、学校は正しい指導ができていないように感じる。」「子供たちの話を聞いても、集中して勉強や活動に取り組める環境ではないように思う。さらなる向上を目指してほしい。」などの意見をいただいた。	学習規律を統一した三小スタンダードを作成していく。また、学級を跨いで指導をしている専科教員が、統一した授業の受け方や担任への要望等を発信するなどして、児童の学習規律の定着に向けた取組を進めていく。
	全教育活動を通じた道徳教育の推進及び道徳科の授業改善（中期）	◇保護者会や地域との懇談等で児童の道徳性や規範意識等を話題にし、家庭や地域と道徳教育の成果や課題を共有することで連携を図る。 ◇道徳科の授業に際して、児童相互に議論する場を設定するなど、自己の考えが深まるよう、道徳ノート等を効果的に活用し、指導の工夫を図る。	・学校評価アンケート達成率	80		75.1%	B	達成度は75.1%で、概ね理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「子供のことを好きでいてくれているような姿勢で導いてくださる先生方がいっぱい学校を望みます。」「SNSでの排他中傷などの社会問題について、子供たちに考えてもらおう授業を取り入れてほしい。」「などの意見をいただいた。	学習の振り返りをノートにし、毎時間積み重ねる。意図的に学習を振り返らせることで、自身の成長を実感させる。また、児童相互に議論する場やロールプレイ等の時間を意図的に設定することで、友達の考えを知り、自己の考えが深まるような指導の工夫を図る。道徳授業地区公開講座に、さらにも多くの保護者が参加するよう、内容の周知と働き掛けを行っていく。
	規範意識及び社会性の向上（中期）	◇三小のきまりや三小SNSルールをはじめとする「きまりを守ること」の意識について理解を深める指導をし、学校生活の中でその意義を実感できるような活動を充実させる。 ◇全ての教職員がよいさつを実践し、保護者や地域とも連携して、あいさつの習慣の定着をめざす。	・学校評価アンケート達成率	80		83.3%	A	達成度は83.3%で、概ね理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「学校全体の挨拶はあまり重要視していないように感じる。」「校長先生が率先してやる日も校門前に立つ朝の挨拶を行っている。」「挨拶ができる子が少ない。元氣な挨拶ができるよう指導してほしい。」「などの意見をいただいた。	教職員が率先して児童に挨拶するなど、積極的に児童への声掛けを行う。代表委員会の挨拶運動を通して、全校年の児童が互いに挨拶を交わらせるようにしていく。道徳や学級活動の時間等に「きまりを守ること」や「挨拶の大切さ」について話し合う機会を設定する。
	児童一人一人を大切にした教育の推進（短期）	◇年3回の服習研修を要として教職員の人権感覚を高めし、いじめ防止研修を通して早期発見、早期対応の力を養う。 ◇呼名の仕方、提示物等、児童一人一人を大切にした教育を全校あげて実践する。 ◇ふれあい月間において、いじめについて児童が主体的に考える取組を実施する。 ◇SCによる5年生児童全員への面接、いじめアンケート等を活用し、いじめ・不登校の未然防止・早期発見の徹底を図る。	・学校評価アンケート達成率	80		73.5%	B	達成度は73.5%で、課題として捉えている。保護者からは、「いじめや不登校を未然に防ぐのは難しい。学校と家庭の連携が大事だと思う。」「子供たち一人一人の性格や特性をしっかりと見て、丁寧に指導したいと思っている。」「いじめに対して学校はどのような対応をしたか、明確に説明してほしい。」「などの意見をいただいた。	年3回のふれあい月間の時に道徳の授業の様子を学校Xで保護者に伝える。11月の縦割り活動で6年生がいじめに関する読み聞かせを行い、それについてどう思うかという話し合いを異学年間で行う。またその様子も学校Xで保護者に伝える。いじめアンケートをフォームスでデータ集計し、生活指導だより等でデータとともに学校での聞き取り等の様子を伝える。
	健康の増進と体力の向上（中期）	◇体カテストにおいて、個々の目標を設定するなど意欲をもって主体的に活動に取り組むよう工夫する。 ◇丘の上スポーツタイム等の体育的活動の充実を図るとともに、体力向上に向けた授業の改善を図る。	・学校評価アンケート達成率	80		86.5%	A	達成度は86.5%で、概ね理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「丘の上スポーツタイムは、毎回違う種目で楽しさと友達とできるので、満足感が高い。」「などの意見をいただいた。	体育の授業を充実させるとともに、丘の上スポーツタイム等の体育的な活動を継続的に行うなど、児童の運動する習慣が身に付くようにしていく。その中で、身体を動かす楽しさを児童一人一人が実感できるようにする。
	学校保健活動や健康課題の情報発信（中期）	◇生活リズムチェック等を通して、児童の健康課題の把握する。 ◇毎月の保健だより等を通じて、学校保健活動や健康課題の周知を行う。	・学校評価アンケート達成率	80		96.5%	A	達成度は96.5%で、概ね理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「生活リズムチェックの結果をみて、どのような生活リズムが心身とても良いか悪いのかを学校で話し合ってみたらどうか。」「ハンカチやちり紙を捨ててこない等が多い。」「などの意見をいただいた。	学校保健委員会等で、三小の健康課題について話し合う。また、家庭への啓発として、保健だよりの周知だけでなく、保護者会時に結果をお知らせできるような資料の作成を行う。
	ゼロカーボンシティチャレンジ教育の推進（中期）	◇第三中学校区で取り組む環境教育（ゼロカーボンシティチャレンジ）の推進。 ◇地域の商業施設や、農園等と連携を図り、校内から市内へと活動の幅を広げる。	・学校評価アンケート達成率	80		90.8%	A	達成度は90.8%で、概ね理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「イオンモールを活用したフリーマーケット等の学習は、とても良い経験になったと思う。」「今後も地域資源を活用した学習機会を設定してほしい。」「などの意見をいただいた。	ゼロカーボンシティチャレンジ推進校として学校、保護者、地域で取り組んでいるという意識を高めるために、日通ち学校・学年だよりやXにて啓発を行っている。今年度は様々な機関、商業施設等と協働して学習を進めること高い効果を期待することができたことから、今年度の取組を次年度にも結び付けられるシステムを構築する。
特色ある学校づくり	地域とともに歩む学校（中期）	◇地域未来塾開始から3年目、地域の人材（学生）を活用した事業の充実を図る。 ◇学校運営協議会が三小中学校教育推進協議会を中心に、保護者・地域と協働した活動を通じ、児童の健全育成を図る。	・学校評価アンケート達成率	80		94.8%	A	達成度は96.8%で、概ね理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「グリーサポーター等のイベントの賞がとても良く、子供たちも楽しんでいる。全校児童が体験できるとよい行事ばかりだった。」「PTA活動（子供会）や青少年対活動の見直しが必要。今の時代に合ったスタイルに変える必要がある。」「などの意見をいただいた。	学校と地域の繋がりが深まっていくと感じる。 ・企画段階から、児童が参画できるときらによい。 ・今の時代にあった活動に選んでいた方がよい。見直す必要がある意見の内容を聞いてみたい。 ・体験型の楽しめるイベントを計画していきたい。
	情報発信力の強化（短期）	◇ホームページ、学校公式ツイッター、一斉配信メール等を通して、リアルタイムな情報発信に努める。	・学校評価アンケート達成率	80		103.8%	A	達成度は103.8%で、高い理解をいただいていると捉えている。保護者からは、「X（旧ツイッター）の更新が毎日あって、毎日学校公開に行っているような気分を味わえる。」「いつも学校公式Xを楽しみにしている。」「メールでの発信は、こまめに届いてよいと思うが、もう少し短い文章でもよいと思う。」「などの意見をいただいた。	ホームページやX（旧Twitter）、一斉メール等を今後も積極的に活用し、学校の教育活動をリアルタイムに発信していく。学校評価アンケートで、「わからない」の回答率が高かった項目を中心に情報発信を増やしていくよう努める。
				80.6	83				

【達成度】＝【達成値】／【目標値】

【評価】 A：8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定

B：8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施

C：5割未満→目標の見直し

平均値

3.65